

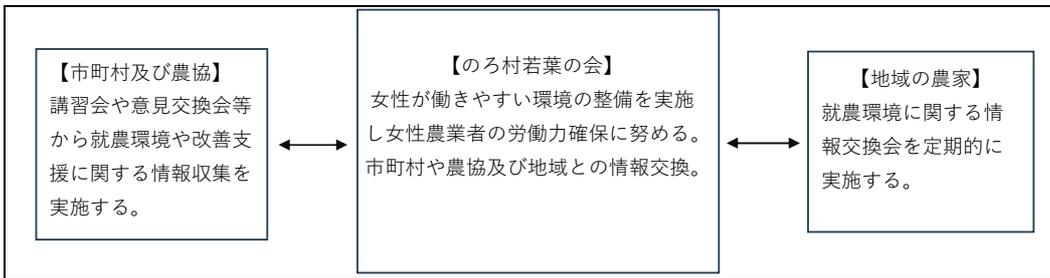
令和6年度女性の就農環境改善・活躍推進事業  
(女性が働きやすい環境の整備支援)計画書

1 地域取組主体の概要

名称	のろ村若葉の会	
所在地	岡山県倉敷市玉島道越238-1	
代表者	渡邊 記代	
主な組織の事業内容 (注)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容：桃の生産及び販売</li> <li>・会員数：6戸 10名(うち女性5名)</li> <li>・経営規模：6戸合計8.2ha(品目：桃8.2ha)</li> </ul>	女性農業者の人数：5人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の就農環境改善のための取組計画

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題 (注)

<p><b>【地域の女性農業者の課題】</b></p> <p>近年、地域において新規就農者が増加していくなかで、夫婦で就農するケースや女性が後を継いで就農するケースが増えている。現状の一番の課題は女性の就農環境の整備の遅れで、中でも畑にトイレがないことが女性の健康問題や作業効率の悪化につながっている。また、畑にトイレがないことで女性労働者の確保が困難になっており、福祉事業所からもトイレの問題で作業依頼を断られるケースがある。</p>
<p><b>【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性】</b></p> <p>女性メンバー5名全員が生産管理部門に携わっている。しかし、基本的に住宅と畑は離れているうえに近隣に公衆トイレ等の施設もないのが現状。そのため、女性メンバーがトイレまで長距離の移動を余儀なくされている。メンバー全員からトイレ設置の要望が強く挙がっており、今後の女性労働力確保の機会損失にもつながる恐れがあるので、畑の中にトイレを設置する課題を早期に解決する必要がある。</p>
<p><b>【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】</b></p> <p>地域全体で見ると高齢化がかなり進んでおり、新規就農者より離農していく人数の方が多い。今後、地域を維持・発展させていこうとすると、より多くの新規就農者の確保に加えて各農家の規模拡大が必須となってくる。そのため女性労働力増加に向けたPRや増加後の定着には、トイレを含めた女性が働きやすい環境整備を積極的に進めていく必要がある。</p>

(注) (2) の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保に係る計画（注1）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他				
区分番号 （注2）	時期	確保場所	数量	利用する女性 農業者（注 3）の人数	備考
②男女別 トイレ	R7.10	協議会メンバー 各圃場	4	5	
	計		4	5	

(注1) 事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際には、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

(注2) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、具体的な名称も記載すること。

(注3) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む。）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。

(3) ① 一般事業主行動計画策定・公表に向けた取組計画

・ 渡邊果樹園

時期	計画策定（見直し）に向けた取組内容	備考
5月	自園の現状把握	
5月	定例会にて聞き取り結果を踏まえての課題分析	
9月	定例会にて計画の策定及び組織内通知	
10月	完成した計画を「両立支援のひろば」に掲載	

・ 竹中農園

時期	計画策定（見直し）に向けた取組内容	備考
5月	自園の現状把握	
5月	定例会にて聞き取り結果を踏まえての課題分析	
9月	定例会にて計画の策定及び組織内通知	
10月	完成した計画を「両立支援のひろば」に掲載	

・ 関啓真

時期	計画策定（見直し）に向けた取組内容	備考
5月	自園の現状把握	
5月	定例会にて聞き取り結果を踏まえての課題分析	
9月	定例会にて計画の策定及び組織内通知	
10月	完成した計画を「両立支援のひろば」に掲載	

・ 岡本桃花園

時期	計画策定（見直し）に向けた取組内容	備考
5月	自園の現状把握	
5月	定例会にて聞き取り結果を踏まえての課題分析	
9月	定例会にて計画の策定及び組織内通知	
10月	完成した計画を「両立支援のひろば」に掲載	

・mori\_mori\_果樹園

時期	計画策定（見直し）に向けた取組内容	備考
5月	自園の現状把握	
5月	定例会にて聞き取り結果を踏まえての課題分析	
9月	定例会にて計画の策定及び組織内通知	
10月	完成した計画を「両立支援のひろば」に掲載	

・杉原造桃園

時期	計画策定（見直し）に向けた取組内容	備考
5月	自園の現状把握	
5月	定例会にて聞き取り結果を踏まえての課題分析	
9月	定例会にて計画の策定及び組織内通知	
10月	完成した計画を「両立支援のひろば」に掲載	

(注1) 計画策定（見直し）に向けた取組の内容欄には、計画策定（既に策定されている場合は、事業内容に沿った見直しも含む。）に向けた①現状把握、課題分析、②計画策定、組織内周知、公表について、それぞれの方法や内容を記載するものとする。

(注2) 実績報告の際、策定した一般事業主行動計画の写しを添付すること。

② 整備内容を踏まえた「目標」達成のための取組（注）

時期	取組内容	備考
5月・9月	農福連携に向けた福祉事業所との意見交換 2回	
6月	女性労働者確保に向けた農作業体験会の実施 1回	
10月	女性農業者確保や就農環境整備における先進地域への視察 1回	
10月	男女別トイレの設置による女性の働きやすい環境をPRした求人 1回	
11月	大阪府で開催される就農相談会へ地域代表として出席 1回	
随時	定例会（協議会内での情報交換や活動内容に関する相談） 6回	
随時	地域の農家との就農環境についての情報交換会 4回	

(注) 女性の就農環境改善のための整備内容を踏まえた、女性農業者確保の目標の達成のための具体的な取組内容（例：更衣室や休憩室の設置など働きやすい環境のPRによる求人など）を記載すること。

4 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	2人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）	
自営農業就業者	雇用就農者 1人 アルバイト等 1人

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。また、第2の1の（5）の実績報告においては記載不要。

※ 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※ 添付資料のうち、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

※ 国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。